令和７年度　東京都立足立東高等学校　学校経営計画

１　目指す学校　　－　教育目標　『心身ともに健康で、知性と感性に富む人間性豊かな都民を育成する』　－
（1）スクール・ミッション
「心身ともに健康で、知性と感性に富む人間性豊かな都民の育成を目指して、学び直しを原点としながら基礎学力の定着と生き抜く力を育む教育活動により、基本的な生活習慣を身に付け自己管理ができる人材、社会性や規範意識をもち、身に付けた知識・技能を活用して課題に対応し地域に貢献できる人材を育成します。」
（2）グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）
足立東高校を卒業すると、こんな力が身に付く。 ① 学び直しを通して知性を磨き、生きる力につながる学力を身に付けることができる。 ② 思いやりの心とコミュニケーション力をもって、他者と協働することができる。 ③ 自らを律し、創造性をもとに、生涯にわたり目標に向かって取り組むことができる。
（3）カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）
足立東高校では、以下の教育活動を中心に実践する ① エンカレッジスクールとして学び直しを重視し、基礎学力の定着を図る。 ② ３０分授業、習熟度別授業、少人数授業などにより学力の向上を図る。 ③ スタディガイダンスにより、義務教育段階の学習内容の確実な定着を図る。 ④ キャリアガイダンスを組織的かつ計画的に実施し、進路実現を図る。 ⑤ 多様な体験学習講座を設定し、地域と連携した特色ある教育の推進を図る。
（4）アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）
次に当てはまる『元気・本気・やる気』にあふれた生徒の入学を期待する。 ① 学び直しに取り組み、基礎学力を身に付けようとする生徒 ② 基本的な生活習慣を身に付け、規則をきちんと守って生活しようとする生徒 ③ 学校行事や部活動などに意欲的に取り組もうとする生徒 ④ 体験学習やキャリアガイダンスなどの特色ある学習に積極的に取り組もうとする生徒 ⑤ ボランティア活動や地域行事などに積極的に参加しようとする生徒

２　中長期目標と方策		３　今年度の取組目標と方策	
		（1）教育活動の目標と方策	（2）数値目標
（1）学習指導	■スクール・ポリシーを踏まえた学習指導を充実させ、生徒の学びに向かう力や学びへの興味と努力し続ける意志を喚起させる授業を創造することにより、生徒に主体的に学び続ける態度と能力を育み、生きる力につながる学力を身に付けさせる。	・一人1台端末等を活用した学習指導の推進 ・「基礎・基本学習個別支援事業」「学力向上研究校事業」の推進 ・授業規律の徹底 ・少人数・習熟度別指導の充実 ・体験学習の充実 ・系統的な「学び直し」の推進 ・授業力向上に資する教員相互授業参観の実施 ・学力向上施策の推進 ・UDの推進	①　学校評価における『学習指導』に関する肯定的評価 ８０%以上 ②　教員相互授業参観（年２回以上）実施率 １００%
（2）生活指導	■生命及び人権尊重の理念に基づく生活指導を推進する。 ■社会の中で自分らしく生きることができる存在へと生徒が、自発的・主体的に成長や発達する過程を支えるという生活指導の意義を踏まえ、教育活動全体を通じ、学習指導及び進路指導と関連付けながら、生活指導の一層の充実を図っていく。 ■態度教育に重点を置き、基本的な生活習慣、社会性と規範意識を身に付けさせる。	・いじめや暴力、体罰並びに不適切な指導の根絶を図る。 ・いじめ対策防止基本方針に基づき、いじめの実態把握調査を計画的に実施し、いじめの未然防止、早期発見・早期解決に取り組む。 ・SC、YSWとの連携を図り、校内の教育相談体制を充実させる。 ・卒業後の社会生活を見据えた基本的な生活習慣を確立させるとともに、特に挨拶ができる社会人として成長し続けられるよう指導する。 ・服装・頭髪等（装飾品、化粧への指導含む）の身だしなみ指導を継続する。進学や就職時の面接に臨む際の礼節、身だしなみを当たり前とした指導を推進する。 ・授業規律の徹底を図る。教員のチャイム前入室を継続することにより、生徒のチャイム着席を定着させる。 ・遅刻の未然防止に資する予防的指導を実効性のあるものとするため家庭の理解と協力を得られるよう努める。	③　学校評価における『生活指導』に関する肯定的評価 ８０%以上

２ 中長期目標と方策		３　今年度の取組目標と方策	
		（１）教育活動の目標と方策	（２）数値目標
（３）進路指導	■キャリア教育の充実を図り、生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう、生徒の将来設計に基づく進路指導を組織的・計画的に行う。 ■キャリアガイダンスを組織的・計画的に実施して勤労観を育て、進路実現に向けた意識を向上させる。	・関係諸機関との連携協力を図る。 ・個に応じたきめ細かな進路指導の推進 ・企業訪問、オープンキャンパス等への参加促進 ・外部関係機関や同窓生などと協働による講演会等の実施 ・キャリアガイダンスの計画実施の継続	④　学校評価における『進路指導』に関する肯定的評価 ８０％以上 ⑤　進路決定者　　９０％以上 ⑥　中途退学件数　２０件以下
（４）特別活動・その他	■人としての調和のとれた発達を図りながら、自らの行動を選択し、決定していくことのできる主体性を育成する。また、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を身に付けさせ、将来の社会生活の中で自己実現を果たすことのできる資質・能力の育成を目指す。	・学校に軸足を置いた生活を送らせるためホームルーム活動を充実させ、帰属意識を高めさせる。 ・学校行事の企画や運営に携わらせるとともに成功を味わわせることにより主体性や協調性の涵養を図る。 ・部活動の実施に当たっては、都教育委員会が示す「学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドライン」を遵守したものとする。 ・ボランティア活動への自発的な参加を促し、自ら社会貢献しようとする資質と能力を育成する。	⑦　学校評価における『特別活動・その他』に関する肯定的評価 ８０％以上
（５）健康・安全	■生徒の健康の保持・増進及び体力の向上を図り、社会の発展に貢献し得る心身ともに健康な人間の育成を目指す。また、安全で安心な学校生活が送れるよう環境整備を図るほか、災害に対する体験的・実践的な指導を進めることにより防災教育の充実を図る。	・自転車事故未然防止（「自転車安全利用五則」等の徹底）の指導を徹底し、自転車運転に係る事故の加害者、被害者にさせないための交通安全指導の充実を図る。 ・登下校時における自転車乗車時の死亡事故から生徒の命を守るためヘルメット着用に資する指導に保護者の理解と協力を得られるよう努める。 ・教育相談体制の一層の充実を目指し、関係外部専門機関との連携を進める。 ・避難訓練を適正に実施し、災害に対する体験的・実践的な指導により防災意識を向上させる。 ・セーフティ教室や防災訓練のほか、生活安全に係る学習活動を計画的に実施する。	⑧　自転車通学時のヘルメット着用指導 毎月実施 ⑨　自転車通学時のヘルメット着用強化運動 毎学期実施 ⑩　健康教育・特別支援教育研修会 ２回以上
（６）募集・広報活動、外部連携	■学校見学会や学校説明会のほか、授業公開等の実施方法を工夫するとともに、入学希望者に本校の特長を理解してもらえるよう学校ホームページ等を活用し、教育活動を積極的に外部へ発信する機会を増やしていく。 地域、生徒・保護者理解を深め、東京都や地域の期待に応えられる学校づくりに努める。	・学校ホームページの計画的な情報更新に努め、学校広報を充実させる。 ・近隣中学校等への広報活動を推進する。 ・中学生、保護者に教育活動への理解と興味・関心をもってもらえるよう学校案内等を作成・配布し、受検希望者の確保に努める。 ・同窓会、ＰＴＡや足立区との良好な関係性を維持し、円滑な外部連携に努める。また、教育相談体制の一層の充実を目指し、関係外部専門機関との連携を進める。	⑪　学校見学会・説明会、個別相談会の実施 ５回以上 ⑫　学校ホームページ等更新 ２００回以上 ⑬　次年度入学生の学校説明会等参加実績 １００％
（７）学校経営・組織体制	■学校経営の適正化を確立すべく、企画調整会議を中心とした学校経営を行う。管理運営規程に基づく学校運営を推進し、組織内における協働体制を充実させることにより、校務の円滑な遂行と学校課題に対し組織的に解決を図ることのできる組織体制の確立を目指す。	・企画調整会議を中心とした組織的な学校経営を推進する。 ・教職員のライフ・ワーク・バランスを推進する。 ・主幹教諭や主任教諭が中心となり組織的なＯＪＴを推進し、若手教員の育成を図る。 ・経営企画室の学校経営参画機能を充実させる。 ・服務事故防止研修を実施し、服務事故ゼロを達成させる。	⑭　服務事故防止研修の実施（悉皆除く） 毎学期 ⑮　学校評価アンケート教職員回収率 １００％